社会福祉法人すずかけの会
令和４年度事業報告書

１　理事会・評議員会の開催及び監事監査・指導検査の実施、許認可等

（１）理事会の開催

第１回理事会 ６月４日(土)	出席７名 欠席０名 監事出席２名	第１号議案	令和３年度事業報告
		第２号議案	令和３年度決算報告 （社会福祉充実計画について）
		第３号議案	令和３年度監事監査報告
		第４号議案	第１回定時評議員会の招集事項
		第５号議案	運営規程の改正
		第６号議案	役員等賠償責任保険契約について
		報告事項	理事長の職務執行状況について
第２回理事会 ８月６日(土)	出席６名 欠席１名 監事出席２名	第１号議案	給与規程の改正
		第２号議案	感染対策指針について
		第３号議案	経理規程の改正
第３回理事会 ３月５日（日）	出席６名 欠席１名 監事出席２名	第１号議案	令和４年度最終補正予算
		第２号議案	令和５年度事業計画
		第３号議案	令和５年度当初予算
		第４号議案	第２回評議員会の招集事項について
		第５号議案	給与規程の改正
		第６号議案	ＢＣＰ計画の策定について
		第７号議案	個人情報保護規程の改正
		第８号議案	経理規程の改正
		報告事項１	市指導監査結果報告
		報告事項２	理事長の職務執行状況等について

（２）評議員会の開催

第１回 定時評議員会 6 月 19 日(日)	出席 8 名 欠席 0 名 監事出席 2 名	第１号議案	令和３年度事業報告
		第２号議案	令和３年度決算報告 （社会福祉充実計画について）
		第３号議案	令和３年度監事監査報告
		諸報告	福祉避難所の協定について等
第２回 評議員会 3 月 26 日(日)	出席 5 名 欠席 3 名 監事出席 2 名	第１号議案	令和４年度最終補正予算
		第２号議案	令和５年度事業計画
		第３号議案	令和５年度当初予算
		報告事項１	市指導監査結果報告
		報告事項２	諸報告

（３）監査の実施

監 事 名	監査実施日	監 査 項 目
松嶋監事 横尾監事	令和４年５月１９日	定款第 18 条第 1 項の規定に基づき、令和３年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

（４）法人指導監査の実施

監査実施日	監査機関	改善を要する事項
令和５年１月２６日	日野市	文書による指摘事項はなし

（５）許認可等

許認可日・指定年月日	所轄庁	内　　容

２　事業経営

事 業 種 別	令和４年４月～令和５年３月
第２種社会福祉事業	１．障害福祉サービス事業（生活介護） すずかけの家（定員２０名） ふらっと・すずかけ（定員２０名） ２．障害福祉サービス事業（共同生活援助） ひまわり（定員５名） ３．障害児通所支援事業（放課後等デイサービス） ぷらたなす（定員１０名）

３　施設利用状況

（１）生活介護

(すずかけの家)

	開所日数	延出席数	延欠席数	１日平均 利用者数	出席率
４月	20	327	73	16.4	81.8%
５月	19	339	41	17.8	89.2%
６月	22	373	67	17.0	84.8%
７月	20	313	87	15.7	78.3%
８月	19	301	79	15.8	79.2%
９月	20	342	58	17.1	85.5%
１０月	20	347	53	17.4	86.8%
１１月	20	323	77	16.2	80.8%
１２月	20	324	56	16.2	85.3%
１月	17	208	115	12.2	64.4%
２月	20	320	40	16.0	88.9%
３月	21	360	18	17.1	95.2%
計	238	3877	764	16.2	85.7%

(ふらっと・すずかけ)

	開所日数	延出席数	延欠席数	１日平均 利用者数	出席率
４月	20	245	35	12.3	87.5%
５月	19	202	45	10.6	81.8%
６月	22	263	23	12.0	92.0%
７月	20	221	39	11.1	85.0%

８月	19	224	23	11.8	90.7%
９月	20	242	18	12.1	93.1%
１０月	20	234	26	11.7	90.0%
１１月	20	249	11	12.5	95.8%
１２月	20	214	46	10.7	82.3%
１月	15	152	43	10.1	77.9%
２月	19	207	40	10.9	83.8%
３月	21	238	35	11.3	87.2%
計	235	2691	384	11.4	87.3%

○障害支援区分別利用状況（すずかけの家）

平均障害支援区分：5.6　（単位 人）

支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分４	20	19	22	20	19	20	20	19	20	12	19	21	231
区分５	58	73	75	68	57	68	69	62	58	47	71	79	785
区分６	249	247	276	225	225	254	258	242	246	149	230	260	2861
計	327	339	373	313	301	342	347	323	324	208	320	360	3877

○障害支援区分別利用状況（ふらっと・すずかけ）

平均障害支援区分：5.2（単位 人）

支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分４	37	34	42	36	38	37	37	39	30	30	36	38	434
区分５	126	100	132	108	106	116	117	119	109	71	103	118	1325
区分６	82	68	89	77	80	89	80	91	75	51	68	82	932
計	245	202	263	221	224	242	234	249	214	152	207	238	2691

（２）共同生活援助（ひまわり）

○障害支援区分別利用状況　　平均障害支援区分：5.4　（単位 人）

支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分４	15	14	16	15	16	15	16	18	15	9	15	17	181
区分５	14	14	18	15	16	15	16	18	14	9	16	16	181
区分６	43	39	47	31	36	41	41	51	44	22	47	49	491
計	72	67	81	61	68	71	73	87	73	40	78	82	853

（３）放課後等デイサービス（ぷらたなす）

	開所日数	延利用者数	１日平均 利用者数	利用率 （個別ｻﾎﾟｰﾄⅠ児童）	指標区分
４月	22	163	7.4	74.1（82.2）	１－１
５月	21	161	7.6	76.7（83.2）	１－１
６月	24	188	7.8	78.3（86.2）	１－１
７月	19	139	7.3	73.2（84.2）	１－１
８月	21	150	7.1	71.4（84.0）	１－１
９月	22	148	6.7	67.3（83.1）	１－１
１０月	22	151	6.8	68.6（82.8）	１－１
１１月	22	150	6.8	68.2（82.4）	１－１
１２月	23	159	6.9	69.1（82.4）	１－１
１月	19	141	7.4	74.2（83.0）	１－１
２月	19	141	7.4	74.2（81.6）	１－１
３月	23	174	7.2	72.5（81.0）	１－１
計	258	1,865	7.2	72.3（83.2）	

４　健康管理業務

（１）医療体制

○すずかけの家嘱託医：日野台診療所
○ひまわり嘱託医：日野台診療所、史歯科医院
○ぷらたなす嘱託医：①小松医院、②日野台診療所
○ふらっと・すずかけ嘱託医：日野台診療所

（２）健康管理

○年１回の健康診断の実施（※ひまわり夜勤者は年２回）
○年２回の聴打診の実施
○年１回のインフルエンザ予防接種の実施
○年１回の歯科検診の実施
○看護師による健康管理・指導
○定時薬・臨時薬の準備と保管及び服用管理
○栄養士（津山商店）による食事管理
○新型コロナワクチンの施設集団接種

５　防災対策

（１）防災訓練

○すずかけの家

実施日	訓 練 内 容	備　　考
９月１日	職員消火器訓練	すずかけの家、ふらっと・すずかけ合同

９月７日	避難訓練	地震・火災想定訓練
３月１５日	避難訓練	地震・火災想定訓練

○ふらっと・すずかけ

実施日	訓 練 内 容	備　　考
６月８日	避難訓練	地震想定訓練
９月１日	避難訓練	地震及び火災想定訓練
９月１日	職員消火器訓練	すずかけの家、ふらっと・すずかけ合同
３月２９日	避難訓練	地震想定訓練

○ひまわり

実施日	訓 練 内 容	備 考
２月１日	避難訓練	地震・火災想定訓練（利用者全員）
２月２０日	自衛消防訓練	防災設備機器操作確認（職員全員）

○ぷらたなす

実施日	訓 練 内 容	備 考
３月３１日	避難訓練	震度６想定の地震発生　指定避難所 平山小学校へ徒歩による避難

６　職員配置状況

（１）すずかけの家

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
施設長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サビ管	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支援員	常勤	5	5	5	5	5	5	6	6	6	5	5	5
	非常勤	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
常勤計		8	8	8	8	8	8	9	9	9	8	8	8
非常勤計		3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
合　計		11	11	11	11	10	10	11	11	11	10	10	10

（２）ひまわり

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
管理者	常勤（兼務）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サビ管	常勤（兼務）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支援員	常勤（兼務）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	非常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
常勤計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
非常勤計		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
合　計		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

（３）ぷらたなす

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児発管	兼務												
指導員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	非常勤	12	12	12	12	14	14	14	14	13	11	13	13
常勤計		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
非常勤計		12	12	12	12	14	14	14	14	13	11	13	13
合　計		14	14	14	14	16	16	16	16	15	13	15	15

（４）ふらっと・すずかけ

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
施設長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
副施設長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サビ管	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支援員	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
常勤計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
非常勤計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
合　計		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

7　新規事業の準備

8　人事労務・給与制度等

人事労務管理	井澤労務管理事務所との業務委託契約
給与制度	処遇改善系新加算に対応した給与規程の改正
職員福利厚生	・職員福利厚生の充実のため、有期契約職員も含め、全職員の福利厚生センター（ソエルクラブ）への加入 ・職員に対する定期健康診断・聴打診及び夜勤業務職員健康診断の実施 ・新型コロナウイルスワクチン接種にかかる特別休暇の運用

9　職員研修・行政説明会・行政関係等

月　日	内　　容	主　　催　　者	参加者
通年	若手・初級者研修	すずかけの会	㋐本間 ㋭河田
通年	中級者研修	すずかけの会	㋐西岡 ㋭藤原 ㋑相川
通年	社会福祉法人会計実務講座中級コース	全国社会福祉協議会	㋭井上
通年	南平地区社会福祉協議会運営委員会	南平地区社会福祉協議会	㋐大浜 ㋑荻原
通年	南平まちづくり協議体	南平まちづくり協議体	㋐大浜 ㋑荻原
通年	南平ちょこっとお助け隊会議	南平地区社会福祉協議会	㋐大浜 ㋑荻原
通年	七生中地区アクションプラン実行委員会 （ななお BON まつり実行委員会）	日野市地域協働課	㋐大浜 ㋑荻原
通年	日野社会福祉士会定例会	日野社会福祉士会	㋑荻原
4/21	都立八王子東特別支援学校 放課後等デイサービス事業所説明会	八王子東特別支援学校	㋭久本
5/14	日野社会福祉士会定期総会＆講演会 「日野市セーフティーネットコールセンターについて」	日野社会福祉士会	㋑荻原
5/19・20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 （管理者研修）	東京都社会福祉協議会	㋐大浜
6/1	日野市グループホーム事業者連絡会幹事会	日野市障害福祉課	㋑荻原

6/7	東京都立七生特別支援学校 学校公開	東京都立七生特別支援学校	㋐久野 ㋭河田
6/8	明星大学教育学部教育学科 保育実習課程　ゲストスピーカー	明星大学教育学部教育学科	㋐大浜
6/9・29	日野市移動支援従事者養成研修会合	日野市社会福祉協議会	㋭久本
6/14 2/9	学校運営連絡協議会	七生特別支援学校	㋭髙橋
6/18・19	障害者施設職員研修会（新任職員コース） ～利用者主体の支援に向けて～	全国障害者総合福祉センター	㋭河田
6/22 10/5	強度行動障害支援者養成研修（基礎） を踏まえた事業所内研修	すずかけの家 ふらっと・すずかけ	㋐㋭全職員
6/27・28	防火管理者講習	東京消防庁	㋐大浜
7/1	日野市創出事業説明会	日野市	㋐仲本
7/4・5	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 （初任者研修）	東京都社会福祉協議会	㋭岸野
7/5	コロナ感染拡大予防に関するオンライン研修	東京都福祉保健局	㋑荻原
7/7	強度行動障害支援指導者研修	東京都社会福祉協議会	㋭西尾
7/12	都立七生特別支援学校 放課後等デイサービス事業所連絡会	七生特別支援学校	㋭久本
7/19	日野市グループホーム事業者連絡会	日野市障害福祉課	㋑荻原
7/19 他	てんかん基礎講座	日本てんかん協会	㋐相馬 ㋐本間
7/19 他	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	東京都福祉保健財団	㋐久野
7/25	労働基準法等に関する研修 ～福祉事業所経営に求められる労務管理とは～	東京都社会福祉協議会	㋭髙橋
7/27	何かあっても福祉サービスを続けるには ～BCP＝福祉防災計画の策定と運用～	日野市社会福祉協議会	㋭髙橋
7/28	東京都グループホーム制度説明会	東京都社会福祉協議会	㋑荻原
8/24	生活寮・グループホーム等ネットワーク委員会交流会	東京都社会福祉協議会	㋑相川
9/2	日野市移動支援従事者養成研修会合	日野市社会福祉協議会	㋭久本
9/5	日野市内放課後等デイサービス事業所連絡会（緊急）	市内呼びかけ３団体	㋭久本
9/9	都立七生特別支援学校 放課後等デイサービス事業所連絡会	七生特別支援学校	㋭久本
9/10・11	ななお BON まつり	ななお BON まつり実行委員会	㋐大浜 ㋑荻原
10/6・7	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 （中堅職員研修）	東京都社会福祉協議会	㋭西尾

10/5	明星大学地域ニーズ講座　参加	明星大学	ふ久本・若山
10/16	日野市移動支援従事者養成研修 座学　講師参加	日野市社会福祉協議会	ふ久本
10/20	フードパントリー関係団体会合	フードバンクたま	ふ久本
10/26	虐待防止・権利擁護施設内研修	すずかけの家 ふらっと・すずかけ	す ふ全職員
11/6	日野市移動支援従事者養成研修修了式出席	日野市社会福祉協議会	ふ久本
11/10 他	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	東京都福祉保健局	ふ髙橋
11/18	東京都障害者共同生活援助(ＧＨ)事業説明会	東京都福祉保健局	ひ荻原
11/22 2/16	日野市グループホーム事業者連絡会役員会	日野市障害福祉課	ひ荻原
12/6	障害者グループホーム従事者基礎研修	東京都福祉保健局	ひ石﨑
12/9	ＢＣＰ策定講座	東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課	す大浜
12/9 他	東京都サービス管理責任者更新研修	総合健康推進財団	ふ井上
12/12・23	東京都サービス管理責任者更新研修	総合健康推進財団	す大浜
1/13 他	東京都サービス管理責任者更新研修	総合健康推進財団	ひ荻原
1/19	地域自立支援協議会就労支援部会	日野市	ふ髙橋
1/25	都立青峰学園　見学	当該学校	ふ久本
2/10 他	指定障害福祉サービス事業者集団指導	東京都福祉保健局	す大浜 ふ髙橋 ひ荻原
2/15	福祉 BCP の考え方及び BCP の作成	東京都社会福祉協議会	ふ髙橋
2/15	日野市自立支援協議会 移動支援事業の柔軟運営の提言書提出	日野市自立支援協議会	ふ久本
2/16	虐待防止・権利擁護研修	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会人権擁護委員会	ひ相川
2/16	令和４年度第３回虐待防止・権利擁護研修	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会	す大浜
2/17	フードパントリー関係団体会合	フードバンクたま	ふ久本
3/2	安全運転管理者講習	東京都公安委員会	す大浜
3/4	南平地区防災交流会	南平地区防災会	す大浜
3/9	障碍者施設における口腔ケア	南多摩保健所	ふ藤原
3/13	障害者日中活動系サービス推進事業補助金説明会	東京都福祉保健局障害者施策推進部	す竹前 ふ髙橋
3/19	全国放課後連　研修集会　参加	全国放課後連	ふ久本

１０　諸会議の開催

会　議　名		開　催　月　等
法人事務局会議		毎月１回実施
虐待防止委員会 身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会		3/28
すずかけの家	職員会議	毎月１回実施（ふらっと・すずかけと合同）
	ケース会議	4/14・8/25・9/8・10/13・12/22・1/19・2/16・3/2・3/23
	作業刷新計画会議	6/16・8/18・9/15
	感染対策委員会	9/21・3/22
	給食会議	毎月１回実施
ひまわり	職員会議	毎月１回実施（※１月は未実施）
	ケース会議	毎月１回実施（職員会議内での実施）
	感染対策委員会	7/11・10/17・3/20
ぷらたなす	職員会議	毎月１回以上実施　学校の予定（短縮授業等）にあわせ、開催曜日は不定期
	ケース会議	児童の下校状況にあわせ随時
	感染対策委員会	3/15
ふらっと・すずかけ	職員会議	毎月１回実施（すずかけの家と合同）
	石けん作業会議	11/16
	感染対策委員会	9/7・3/29
	ケース会議	4/28・8/25・2/2・2/10・2/16
	給食会議	毎月１回実施

１１　財務・事務管理

情報公開	当法人の情報公開開示規程を遵守しつつ、年３回（６月、１０月、２月）、機関紙「すずかけ」を発行
個人情報保護と共有	当法人の個人情報保護規程に基づき、利用者等関係者の個人情報保護に努めた。
苦情対応	当法人の苦情対応規程に基づき、利用者等の苦情に迅速に対応した。

業務の効率化・コスト削減	光熱水費をはじめ、コスト削減に努めた。
契約の公正・透明性の確保	経理規程に基づき、競争入札のほか、随意契約についても原則相見積もりを励行した。
事務管理の適正化	経理規程、文書管理規程に基づき事務を実施。
第三者評価	令和２年度にすずかけの家、ふらっと・すずかけ、ひまわりで受審。
放課後等デイサービス事業者自己評価	法定必須業務　平成３０年３月から年度毎にホームページに公開

すずかけの家
令和４年度事業報告書

１．事業内容

１）目的

・今年度も新型コロナウイルス感染症による影響（以下「コロナ禍」と表記します。）が続き活動の自粛もあったが、状況に合わせて工夫をし、概ね目的に沿った支援ができた。

２）基本方針

・基本方針に沿って行えた。
・コロナ禍において引き続き安心、安全な環境づくりに努めた。

３）活動日と活動時間

・グループホーム、保護者の皆さんのご理解とご協力のもと実施してきた、コロナ禍における時間短縮での開所は5/20(金)で終了し、5/23(月)から通常開所となった。
・新型コロナウイルス感染者拡大の為1/16(月)～1/20(金)まで休所の措置をとった。
・2/10(金)降雪、積雪の為、自主降所とした。

２．支援内容

１）生活支援

・事業計画、個別支援計画に沿って支援を行った。

① 衣服の着脱・身だしなみ

・今年度もコロナ禍の為、朝と帰りの着替えを中止した。
・上着をハンガーにかける、畳む等の習慣が薄れてきているので、自身で取り組んでもらえるように支援をしていく。
・インナーが出ている利用者も見受けられたので、言葉かけや直接支援ですぐに直せる様に支援をしていく。
・衣服のサイズが合っていない方も見受けられたので、保護者と連携して改善に努めていけると良い。
・汗をかいたとき、衣服が汚れた際に着替えを行った。

②排泄

・個々人にあわせてトイレ誘導、支援を行い職員間の連携もできていた。
・ホワイトボードを活用して排せつ時間等、職員間で情報の共有ができた。（記入の際はイニシャルを使用した）

③食事
・個々人に合わせた支援、介助を行い、楽しい食事になるように心掛けた。
・個々人に合わせて食事の提供形態を工夫した。
・口に詰め込んでしまう方や、咀嚼が少ない方に対しての支援を考察していく必要がある。

④清潔
・引き続き手洗い、消毒など清潔に努めた。
・毎日の掃除、消毒により清潔を保てた。

⑤マナー・ことば
・丁寧な言葉かけを心がけているが、利用者への言葉かけの際「～さん」ではなく「～くん」呼びになっていることや、時にフランクになりすぎてしまう事があったので注意していく。
また、職員間の会話で利用者の呼び方が雑になる場面があるので気を付けていく。
・作業中や支援の場面と、休み時の関りの場面などをしっかり分けることができていた。

⑥健康（体力作り）
・ダンス教室もあり、運動の機会が増えた。運動が必要な利用者に対して少しずつ活動内での運動の機会が増えてきた。
・年度途中からポスティングを再開し、継続的に取り組むことが出来たので、いける利用者は限られているが外で体を動かす作業の機会が増えた。
・特に運動が必要な利用者に対しては、食後のストレッチや散歩、階段昇降等を行った。今後も継続して健康、体力の維持、向上に努める
・屋外だと天候に左右されるので、室内で体を動かせる活動の充実を探っていく。
・全体的には運動不足だと感じるので、来年度は意識して散歩等しっかり取り組んでいく。

⑦日直
・日直の役割が果たせるように、係仕事の役割などを伝え取り組んだ。
・日直としての仕事を、利用者本人が参加できる機会を増やせていけるよう取り組んでいく。

２）作業支援
①紙漉き製品作り（ハガキ･名刺･しおり等）
・担当を中心に貴重な室内作業、自主製品として取り組めた。
・コロナ過で活動も限られる中工程も多く、利用者全員が取り組めて良かった。
・紙漉き作業１回の目標数である 20 枚以上を作成することが出来た。
・受注も多く、売り上げも良かった。

②袋詰め（銀のさら）
・今年度は豊田八王子店のみの受注となり、繁忙期の受注数も担当が中心となり調整したことで無理なく取り組むことができた。
・利用者個々人のペースに合わせて取り組むことができた。
・繁忙期の作業準備は送迎到着前までに行っていけると良い。

③畑（園芸）
・夏野菜はよく収穫でき、利用者も収穫を楽しむことができた。
・冬場は土づくりに努めた。また今年度も近所の方の協力で、畑の拡大や、手入れをしていただいた。
・日よけのタープを増やした事で、日陰での作業や休憩をできるようにした。

④教材の仕分け
・雨天時など室内で個々人のペースで取り組める良い作業であり、楽しみにしている方もいる。
・仕分け教材の置き場がよく整備されていた。
・館内清掃時に合わせて下田商店へ捨てに行く計画を立てると良い。

⑤ポスティング（ビルドコンサルテーション）
・感染対策を取りながらポスティングの作業を再開できて良かった。
・担当を中心にコロナ過の状況や季節を見ながら作業受注の調整に努めた。
・年齢、体力的にポスティングに参加することが厳しくなってきている利用者もいるので、受注の枚数と配布場所について今後検討していく。

⑥竹パウダー詰め
・前年度は特定の利用者での作業参加が多かったが、今年度は多くの利用者が参加することが出来た。
・午前中に詰めて午後に届けるスケジュールは、作業に見通しが持てて良かった。

⑦椿茶
・終わりの見通しがもちにくい作業であるが、作業工程を工夫して多くの利用者が取り組めていて、集中して丁寧に取り組める利用者もいる。
・先方からの発注の時期に偏りがあり、受注が無い時期があった
・保管方法、保管場所を工夫していたが、椿茶葉が傷むことがあり、他施設の取り組みや保管方法を参考にしていく必要がある。

⑧陶芸
・コロナ禍のため今年度も活動を中止した。

⑨日野市創出事業
・新たな作業を受けることで、作業工程を工夫し、利用者の出来ること、得意なことの新たな発見に努めた。
・受注も多くあり単価も良く、工賃収入につながった。

⑪資源回収
・今年度も関係者からの持ち込みに限り資源を回収した。
・回収した資源は下田商店へ運んだ。利用者が車に乗って外に出る良い機会となった。

⑫その他
・利用者の高齢化、作業種によっては利用者が限られてしまう現状を踏まえて、今行っている作

業の継続について中長期的に検討していく必要がある。

⑬各作業実績

	令和４年度目標	令和４年度実績
紙漉き製品	紙製品：2,000 円/月×12 ヶ月=24,000 円 名　刺：1,000 円/月×12 ヶ月=12,000 円 作成目標：紙漉き作業一コマにつき 20 枚作成	紙漉き平均 20 枚作製達成 紙製品　40,000 円 名　刺　12,500 円
袋詰め	西八王子店・豊田八王子店　各店舗１ヵ月に１回納品 毎月の受注数：各店舗１ヵ月 25 袋　５～１人前　５袋ずつ 繁忙期の受注数：各店舗１ヵ月 50 袋　５～１人前１０袋ずつ	・今年度から豊田八王子店のみの受注となった。 ・毎月の受注 1～5 人前 5 袋ずつ。繁忙期 1～5 人前 10 袋ずつ。 ・令和 4 年度工賃 49,500 円
畑（園芸）	夏野菜作り（ピーマン、ナス、オクラ、ゴーヤ、大葉等） ①土作り・整地(1 月～4 月)②種まき(4 月～6 月)③収穫(7 月～9 月) 冬野菜（玉ねぎ、ほうれん草、ネギ等） ①土作り・整地(9 月～11 月)②種まき(11 月～12 月)③収穫(翌 4 月～6 月) 来年度売り上げ目標：20,000 円,今年度売り上げ実績：12,030 円(夏野菜のみ)	夏季野菜のみを栽培 （ピーマン・ナス・大葉・ゴーヤ・オクラ） 売り上げ 5,290 円 秋から冬にかけては土づくり、整地を行った。
ポスティング	１回の受注数：1200 枚/3 種類（売り上げ 4,000 円） 作業目標：1 ヵ月 3600 枚配布（売り上げ 16,000 円）	7 月～３月 112,000 円
仕分け	11 月末までに作業完了。	11 月末までに作業完了完了完了完了 令和 4 年度工賃 15,050 円
椿茶	1 納期の受注量：4 kg（内すずかけの家 2 kg）を 2 週間で完了させる。 単価：1 グラム 1.1 円	・納期内で作業を完了できている。 ・令和 4 年度工賃　3,533 円
竹パウダー詰め	作業１コマにおける作成目標：１５袋	・作業１コマで１５袋以上作成できている。

資源回収	・資源の回収は関係者からの持ち込みに限る。 ・2 週に 1 度下田商店へ資源を持ち込む。	左記内容で下田商店からの現金収入　11,000 円(アルミ缶) 奨励費　33,650 円（1，2，3 期分）
日野市しごと創出事業	目標設定なし。	作業種 封筒仕分け・帳票仕分け・千羽鶴　94,440 円

３）文化活動

①音楽教室
・グループを調整したことで、態勢や時間に余裕ができ、利用者もよりのびのびと楽しんで参加することができた。
・年度末に講師と職員とで話し合いの場を設け、改めて音楽療法について確認や意見交換ができてよかった。

② ダンス教室
・今年度より本格的にはじまり、好きな音楽で身体が動かせる貴重な活動となった。
・ダンス教室に慣れてきた利用者も増え、前年度よりも楽しんで身体を動かす利用者が増えた。

③ 調理活動
・今年度もコロナ禍の為、活動を中止した。

④創作陶芸
・今年度もコロナ禍の為、活動を中止した。

４）年間行事
・コロナ禍で中止をした行事もあったが、状況を把握しながら行事を行えていた。感染拡大の危険性のある行事は避け、利用者への健康の配慮ができた。
・BBQ やハイキングなど、コロナ禍でも外に出る機会を持つことができ、利用者も楽しむことができた。

３．リスク管理（緊急時における対策）

１）防災･防犯
・防災訓練や消火器の使い方の研修など行い充実していた。
・避難用滑り台では、以前より滑ることが難しくなってきた利用者もいるので、対象者には滑り台を滑る訓練を増やし、滑り台での避難方法も検討していく。
・定期的に訓練が実施できて良かった。

２）衛生管理
・BCP 計画（新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画）、感染対策指針の内容確認や研修を行い、学習の機会を増やすことができた。
・窓を閉めてしまう利用者に対しては窓が締め切らないようにストッパーを置くなどして換気ができるように工夫をした。
・手洗い消毒の励行、利用者降所後の施設内、車両の消毒を引き続き行った

４．環境の整備

１）予算
・行事については予算内で執り行えるように計画し実施できた。
・電気、温便座の消し忘れやエアコンの設定温度に注意していく。
・燃料費、光熱費、物価が高騰しているので次年度はより節約に努めていく。

２）支援態勢
・今年度もすずかけサポーター、ボランティアの協力は行わなかった。
・支援態勢を工夫しながら必要な人が事務を取れるように連携した
・日々の活動で同じ態勢が連続して続く事があったので、態勢を組む職員は、利用者、職員が連日続かないように活動日誌を振り返りながら組むようにする。
・水曜日の散歩等は貴重な身体を動かす時間なので、なるべく取り組めるように意識して態勢を組んでいく。
・職員間で連携をし、施設内での他害や大きな事故は未然に防ぐことができていた。

３）給食
・バランスのよいメニューで利用者、職員ともにおいしくいただいている。
・味付けが濃いことが多かった。⇒津山商店が塩分濃度計を購入し、塩味が濃くなりすぎないように調整してもらえるようになった。
・献立の感想は給食会議や今後のメニューづくり、厨房の方も参考になっているので率直的な意見を積極的に発言してもらいたい。
・３月から終礼にて、当日の給食につて感想を募る時間を設けた。
・個々人に合わせて必要な方と、当日の献立の状況に応じて、二次、三次調理を行い、食べやすさと食べる回数が増やせるように努めた。

４）健康管理

①日常の健康管理
・送迎乗車、施設登所時の検温に加え、昼食前後、午後の作業後にも検温を行い、健康、体調管理に努めた。
・肥満傾向、運動不足の利用者が増えてきたので、体重測定を月２回に増やし、体重の増減の把握と、運動を意識的に取り組めるように努めた。

②その他

・7/7、9/15 健康診断、10/6、13、20 歯科検診、12/15 インフルエンザワクチン接種、2/2 聴打診実施
・法人で購入していた PCR 検査キットがあったことで、新型コロナウイルス感染者が発生した際、利用者、職員全員の検査結果を早い段階で知ることが出来て良かった。
・感染の疑いがある方に対してもスムーズに検査キットを提供でき、早期に結果が分かってよかった。

5）保護者会との連携
・保護者会は新型コロナウイルス感染の動向を見ながら開催した。
・忘年会行事の際、保護者会より活動費のご寄付をいただいた。

5．職員

1）職員分掌と係り分担
・バランスよく分担できていて忙しいときは皆で協力できた
・職員間で協力し忙しい職員に事務時間が取れるように努めた。
・事務時間は比較的確保できた。

2）職員会議とケース会議
・年間の会議日程に沿って実施した。
・円滑な話し合いができていた。
・合同ケース会議では虐待防止、強度行動障害についての施設内研修が行えて良かった。
・ふらっと・すずかけの状況もわかり、参考になることも多く良かった。

3）個別支援計画とケース記録
・個別支援計画が、新人職員にもわかりやすくまとめて書いてありとても良かった
・ケース記録を毎日記入するように変えてから利用者の変化がわかりやすくなった。
・個別支援計画は保護者の方やグループホーム、相談支援事業所の方と面談を行い、面談の結果を職員間でも共有することができた。
・職員全体で話し合い、個別支援計画を作成することができた。
・個別支援計画の話し合いで、利用者の新しい一面など共有しあえて良かった。
・ケース記録も大切だが健康記録の記入忘れも多いので、職員全員で意識的に記入していけるように努めていく。

4）研修
・理事長による初任者研修、中堅職員研修や ZOOM を使った外部研修等、学びを深める機会が多かった。日々の支援に反映できるよう努めていきたい。

6．関連団体との関わり

・会議等への参加は今年度もリモート方式などを活用しながら参加した。また、感染状況を踏まえながら、外部会議への参加もでき、外部との情報共有が行え

た。（きょうされん・日野市施設職員交流会・南平地区社会福祉協議会・南平まちづくり協議体・日野市障害者関係団体連絡協議会・日野わーく・わーく等）
・モニタリングは感染状況を踏まえながら電話や対面での面談を判断して行った。対面での情報共有の大切さを改めて感じた。
・明星大学１名、フェリシアこども短期大学２名、保育士の現場実習を受け入れた。

ふらっと・すずかけ
令和４年度事業報告書

１．事業内容

１）目的

・新型コロナウイルス感染症による影響（以下「コロナ禍」と表記します。）で引き続き活動自粛を行ったが、後半は徐々に活動を戻し始めることができ、職員の共通認識の元、様々な支援を行うことができた。

２）基本方針

・利用者を大切にするという基本方針に沿った支援を行った。
・新たな仕事や文化活動が、利用者一人ひとりが働くことや施設での活動について楽しみや喜びを感じることができる機会となった。
・利用者権利擁護規程を人権綱領とし、職員研修も実施し虐待防止等に努めた。
・利用者に対しての言葉掛けや呼称など、礼節をもって接する様に心掛けた。
・個々の利用者の様子を職員全体で共有して、質の高い支援を行える様に努めた。
・利用者の心身等や問題のあった場合、また、その対処方法等の情報を職員間で共有した。
・コロナ禍の中で、引き続き最適な環境づくりに努めた。

３）活動日と活動時間

・感染拡大時も通常時間での開所を行った。
・利用者の連絡事項（欠席や送迎場所変更など）は職員間での連絡や新たな書式での記録等を利用して把握漏れの無い様に務めた。

２．支援内容

１）生活支援

・個々の状況に合わせて、個別支援計画や方針に沿った支援を行った。
・利用者自身が意識できるような言葉かけや具体的な方法を示すなど、職員の共通認識のもと支援を行う事ができた。
・全般的に感染予防対策を優先した支援を行った。

①衣服の着脱･身だしなみ

・着替えは引き続き中止したが、気候や個々の状況に合わせた支援を行った。
・予備の着替えの補充と季節の変わり目の衣替え、ハンカチの補充など家庭やグループホームとの連絡調整に努めたが、足りない時もあり、定期的な確認が必要である。

②排泄

・個々に合わせて支援を行った。
・トイレ誘導や手洗い、後の消毒まで職員間で確認しながら行うことを引き続き努

めた。
・汚れた場合は自分で拭いてもらったり、対応した職員が最後にきれいにすることも引き続き意識しながら行った。

③食事
・個々の状態に合わせて、食事量や二次調理などの調整をした。
・完食でき、残食がない。
・「楽しい食事」と「マナーなどを支援する食事」両方をバランスよく支援することを心掛け、実践できている。

④清潔
・手洗いや消毒、共有スペース・物の消毒など感染予防と清潔を保つように引き続き非常に気を配った。
・外出後や活動後、食事前などの手洗いと消毒は定着している。
・手洗いの仕方やハンカチ・ペーパータオルの使用、拭き方などは意識してできるようになってきた利用者もいた。

⑤マナー･ことば
・他者との適切な関わり方（過度なスキンシップなど）や丁寧な言葉遣いについて支援をした。
・引き続きマカトン法を有効に活用できる様に職員がより意識して使える様に努力することが必要である。
・丁寧な言葉遣いで支援することを心掛け実践できている。引き続き意識をしながら利用者や職員間で互いに尊重し合う会話と言葉掛けに努めていけるとよい。

⑥健康･体力
・体調を崩す人がなく、健康に過ごせていた。
・１日中室内活動にならないように配慮しながら活動体制を組んだ。
・散歩を通して体力低下等がないよう努めた。

⑦日直
・当番仕事を引き続き限定して行ったが、楽しみややりがいを感じている利用者が多い。

２）作業支援
・引き続き感染予防対策に十分配慮しながら行った。
・感染予防対策を緩和し、利用者が関わることができる機会が増えた。
・個々の状況に合わせて取り組んだ。
・各作業の中で得意な工程や好きな工程を見つけ、意欲的にできている。
・不得意な作業でも少しずつ関わってもらえるよう更なる工夫が必要。
・大きな怪我も無く、安全に過ごすことが出来た。
・計画に沿って行い、工賃を月 2,000 円支給した。
・限られたスペースの中で道具や材料の整頓やマニュアルの整備に努めた。

・年間通して安定的に行える室内作業があるとよい。

①教材の仕分け

・誰でも取り組める作業となっており、上手な利用者が多い。

・多くの利用者にとってやりがいのある作業だが、更に作業量が減っている。

②ポスティング（チラシ配り）

・感染予防対策を講じながら年度終盤はコロナ前と同数の作業量を行うことができた。

③ダンボールコンポスト

・利用者の方と地域住民の方が関わる機会を再開した。利用者の仕事への意欲につながっている。

・竹パウダー詰めをすずかけの家が行っているので、作業量や竹パウダーの管理、残量など細かな確認を行い、連携し年間通して安定して行えた。

④公園清掃

・利用者がやりがいを感じながら取り組んでいる。

・作業の流れはどの利用者にも定着している。

・それぞれの利用者が得意な部分で役割を持ち、しっかりと取り組めている。

・利用者の得意な部分を引き出せるよう、用具の使い方、清掃のやり方などその都度機会をとらえて支援をした。

⑤榮太樓

・例年に比べてかなり多い数を受注でき、得意な利用者を中心に取り組むことができた。

・室内作業として貴重であり、衛生面に配慮しながら、苦手な利用者にも経験してもらえるよう工夫が必要。

⑥石鹸づくり

・きょうされんやわーく・わーくなどでの販売し、販売量が増えた。

・固形せっけんは安定した製品作りができるようになってきたが、より安定して作れるよう外部講師を招き教えを受けた。

・引き続き室内作業の軸とさせるため、担当職員が中心となりどの職員が製品作りに関わっても安定した商品自体の質や利用者の関わり方ができるよう、研究と定期的な職員間での確認が必要。

・外部講師を定期的にお招きできるとよい。

⑦椿茶

・葉っぱを拭くという作業動作は単純でどの利用者も参加しやすいが、拭く回数などの基準が分かりにくい。

・個々の状況に合わせて、利用者が見通しを持って参加できるように作業量や時間など考慮しながら進めるように努めた。

・葉の品質維持が難しい。

⑧日野市仕事創出事業

・市役所の障害福祉課以外の課にも施設の特性を少しづつ理解して頂き、受託させていただく仕事が増え、利用者が地域と繋がる機会が増えた。

⑨各作業実績

	目　　標	実　　績
石けん作り	販売目標：固形・液体共に５０個／年 固形 150 円×50 個＝7,500 円 液体 250 円×50 本＝12,500 円	固形 150 円×61 個＝ 9,150 円 液体 250 円×64 個＝ 16,000 円
ポスティング	毎月の配布目標枚数：2100 枚以上。	4 月、5 月、6 月 0 枚 7 月 674 枚、8 月 812 枚、9 月 1350 枚 10 月 1053 枚、11 月 1173 枚、 12 月 1083 枚、1 月 1065 枚、 2 月 2157 枚、3 月 2193 枚
榮太樓	1 納期の受注数：夏期(8 月)900 個、 冬期(10～12 月)900 個	7 月 0 個、8 月 800 個、9 月 600 個 10 月 1400 個、11 月 4800 個 12 月 5400 個
椿茶	１納期の受注量：４kg（内ふらっと・すずかけ２kg）を２週間で完了させる。 単価：1 グラム 1.1 円	納品時 約２．５kg

３）文化活動

・個々の状況に合わせて、楽しく取り組めるように支援をした。
・日常とは異なるコミュニケーションのきっかけともなっている。
・音楽教室、ダンス教室共に、コロナ禍で利用者がリフレッシュできる貴重な活動となっている。
・利用者が心身を解放できる場となっており、普段は見られない表現が現れる大切な時間となっている。

①音楽教室

・利用者がのびのびと楽しみながら積極的に参加している様子が多くみられた。
・自ら鳴らす、歌うなど色々な方法で自己表現を行いどの利用者も楽しめていた。
・それぞれの利用者が楽しめる範囲が広がってきていて充実した活動である。

②ダンス教室

・施設内の狭いスペースでも講師の工夫されたプログラムでどの利用者も楽しんで参加している。

③創作陶芸

・今年度の活動も中止。
・貴重な機会なので再開したい。

④調理

・今年度の活動も中止。

・再開に向けて感染予防対策や利用者の居場所などハード面での課題もあり、安全に楽しく実施できる方法が見いだせていない。

4）年間行事

・ハイキング、忘年会、バーベキュー、日帰りバス旅行など感染予防対策を徹底しながら実施することができた。

・利用者が楽しむ姿を見ることができ、改めて行事があることの大切さを実感できた。

３．リスク管理

・新型コロナウイルス感染症発生時におけるＢＣＰ計画及び自然災害発生時におけるＢＣＰ計画を策定し職員全体で内容の確認や研修を行った。

・ＢＣＰ計画策定に伴い、災害時に備えて防災用品の充実と買い替えを行った。

・新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者、クラスターの発生があったが、その都度、協力医療機関や保健所からのアドバイスや指導を受け個々の対応を行った。

1）防災・防犯

・避難訓練を６月、９月、３月に実施した。

・ＢＣＰ計画の基、広域避難所である平山小学校までの避難経路の変更と訓練の実施で確認を行った。

2）衛生管理

・日々ヒヤリハットの確認を行い、意識しながら職員間で連携して対応することができた。

・手洗いや消毒を引き続き意識して行った。

・看護師からの助言や指導に基づいた支援や環境整備を行った。

・汚物処理セットを使用する機会があり、使用方法など職員間で改めて確認できる機会となった。引き続き定期的な確認と整備が必要。

・ＢＣＰ計画に基づく研修を行い、内容に沿って手洗い石けんの補充方法などを改めた。

４．環境の整備

1）予算

・各担当職員が予算を意識しながら行事実施や日々の活動を行うことができた。

2）支援態勢

・すずかけサポーターやボランティアの受入れを引き続き中止した。

・職員数が一定数確保できていたので、手厚い支援を行えることが多かった。

3）給食

・計画に沿って実施した。

・個々の状況に合わせて対応した。

・カロリー計算や栄養バランスなどのしっかりとした献立になっている。

・ふらっとからも毎月の給食会議に参加するようにした。
・月１回の業者との給食会議が日々のメニューなどに活かされていて、よりよい給食提供ができている。
・楽しみにしている利用者も多く、残食がない。
・パーテーションの設置とできるだけ黙食をするよう心がけながら喫食している。
・食管を保温できるものと交換し温かい給食が提供できるようになった。

4）健康管理

①日常の健康管理

・計画に沿って実施したが、感染予防対策として食後の歯磨きは引き続き中止した。
・引き続き看護師と連携し利用者への健康管理を行った。
・表情や行動から、利用者の体調を気に掛けた。
・通院報告により正確な健康状態の把握に努めた。
・散歩の機会を増やしたりしたが、体重増や体力の低下を感じられる利用もいた。
・３月１３日以降マスクの着用について緩和する対策を取っている。
・新たな看護師の採用により、利用者の健康面での相談などが充実した。

②その他

・計画に沿って実施した。
・健康診断、歯科検診を行った。
・インフルエンザの予防接種を実施した。
・夏季の水分補給は特に重視した。
・冷暖房の調整や加湿器の使用、換気などで施設内環境に配慮できた。

5）保護者会との連携

・感染拡大時以外は保護者会を開催した。
・家族全体と施設との関りが持てるような取り組みは行うことができなかった。

５．職員

1）職員分掌と係り分担

・個々の職員の業務量などをお互い確認し合いながら日中の事務時間の確保に努めることができた。

2）職員会議とケース会議

・年間の会議日程に沿って実施した。
・時間内に円滑に進めることができた。
・ケース会議は、日々の支援について職員間で共有ができるよい機会となった。

3）個別支援計画とケース記録

・個別支援計画の作成や見直し等は円滑に行えた。
・ケース記録を新しい書式にした。引き続き個々の職員が毎日記録をする意識を持つことが必要。

・利用者自身の意見や要望を個別支援計画に取り入れられるよう工夫をした。
・相談支援事業所と定期的なモニタリングなどを通して連携を深め、利用者へのより良い支援ができるように協力し合えることができた。

4）研修
・基本的に年間通してリモート研修への参加としたが、一部学校見学やスクーリングなどの集合型の研修にも参加した。
・若手初級者内部研修、中堅職員内部研修を実施した。
・自主的に研修を希望する機会が少なくなっており、各自で改めて自己研鑽に努める意識を高めていきたい。

6．関連団体との関わり

・加盟団体等（きょうされん、日野市障害者関係団体連絡協議会、日野わーく･わーく、日野市障害者施設職員交流会など）の外部会議へは、基本リモート参加とした。
・明星大学、アルファ医療福祉専門学校からの相談援助実習の受入を行った。
・三沢中からの職場体験の生徒の受け入れは引き続き中止した。

社会福祉法人すずかけの会

ひまわり（共同生活援助）　令和４(2022)年度事業報告書

2023 年 3 月 31 日

１．事業体制

【利用時間】

１６：００ ～ 翌１０：００　（水曜は１４：００ ～ 翌１０：００）

〔夕から夜〕帰寮→おやつ→入浴→夕食→自由時間→就寝

〔朝〕　　起床→身支度→朝食→自由時間→出発

〔その他〕◆週半ばでの休日への日中対応および外出企画。

◆家庭の事情や緊急時の週末対応等。

【利用者】

５名　（定員５名）

【職員体制】

常勤２名（管理者兼サービス管理責任者兼生活支援員、世話人）

非常勤８名(夜勤の世話人１名(契約)、家事援助の生活支援員７名)

※2022 年度は職員の入退職は無かった。

２．個別支援計画

個々の個別支援計画を具体化し、期間設定のもとに支援をした。保護者との個人面談や保護者会、連絡帳または電話等で、保護者から家庭の様子を窺い、本人の生活全体を捉えて支援に活かす様にした。

〔計画作成(4 月・10 月)〕

３．通所施設(バックアップ施設)との連携

すずかけの家、ふらっと･すずかけとの間で、緊急時等に応援の必要な時に、適宜、状況に応じて情報を交換し、相互に連携を図った。今年度も週半ばの祝日等の日中対応時などに協力を得られた。

４．関連機関との連携

医療機関とは、個人情報保護のもとに必要な情報交換をし、適切な医療が行えるよう連携した。保護者が利用者本人を通院させることが困難な場合、もしくは通院支援が必要と思われる場合は、ひまわり職員が通院に付添った。(各利用者に対し、個々に対応する。)

一部の相談支援事業所とは、利用者の計画相談のモニタリングにおいて、利用者のグループホームでの様子等、情報の共有をし、連携を図った。

５．職員会議（月１回）

利用者および施設の予定、利用者ケース等の確認と対応の検討を中心に、必要に応じて、ホーム全体の業務内容を見直した。また、感染症や障害者の権利擁護や虐待防止などの職員全体での学習の機会も設けた。

６．余暇活動、行事

個別の誕生日会、お菓子作り、外出企画等を利用者に適した内容で行い、生活の充実を図った。(水曜午後、休日等)

７．防災

職員の防災についての意識を高め、利用者が避難の方法に慣れるようにする。全員が緊急時（火事、地震等）に適切に行動できるように訓練を行った。

〔ホームでの避難訓練（年２回)、防災設備点検（年２回)〕

※総合的な避難訓練が１回（１月)。

設備機器の扱いを重視した防災訓練を１回（3 月)。

８．研修

利用者支援への職員の意識や技術を高める為に、外部研修への参加、参考文献の紹介、職員会議での学習などを行った。都加算を受ける前提条件の一つにもなっている。

〔※コロナ感染拡大予防に関する研修（7 月)、障害者グループホーム従事者基礎研修（12 月)、虐待防止・権利擁護研修（2 月)〕

９．保護者会

保護者の意見や家庭の様子を聞き、ホームでの様子を伝えながら、情報交換を行った。保護者同士、相互に交流し、意見や感想等が様々に出された。(9 月、3 月)

〔総括〕

今年度も新型コロナウイルス感染の不安を抱える中での事業運営でした。一昨年前より、感染予防を理由として始めた各居室を中心とした生活と食事時間の分散化は利用者にも定着して、結果的には利用者間のトラブルも少なくなった。

新型コロナウイルス感染拡大の影響としては、通所先(すずかけの家)の活動時間短縮により、グループホーム内での生活時間が長くなることでの職員負担の増加があった。その反面、金曜泊り利用については感染予防を理由に利用が無くなり、勤務日数が不足する職員が出たが、利用者を個別で休日に散歩等に連れて行くことや水曜午後の散歩の態勢を手厚くする等の対応をした。また、現在は、金曜日夕方に勤務していた職員の退職もあり、利用希望があっても、以前の様に、毎週の金曜泊り利用の再開をすぐに出来ない状況である。その他、1 月の同時期に利用者 3 名と職員 2 名の感染があり、1 週間の休所を余儀なくされた。また、感染拡大時は自主的な利用自粛もあった。

通常の事業運営としては、家族の負担軽減を図ることや緊急時などに、個別のニーズに応じて、週末土日等の臨時利用の受け入れ態勢は維持していたが、要望はほとんど無かった（１件のみ)。利用者に対する趣味等の個別の企画の実施は困難であったが、感染状況を考慮しながら、週半ばでの休日を利用しての外出活動〔都立野山北六道山公園や近隣公園など〕は行った。

今後の課題としては、まずは、利用者または家族と相談の上、金曜泊り利用の再開がある。次に、保護者の高齢化により、年間を通して(365 日)の利用ニーズは高く、365 日事業運営の可能性についての最終判断が求められている。また、緊急利用や職員の突発的休業などに備えた法人内での職員のサポート体制の構築が必要である。

放課後等デイサービス事業所　ぷらたなす
令和４（2022）年度　事業報告書

報告：管理者・児童発達支援管理責任者　久本　興治郎

【年度末在籍状況】　在籍率８０％（４０人/５０人定員）

	月	火	水	木	金
男児	7	6	5	5	7
女児	1	2	4	2	1
合計	8	8	9	7	8

※定員に達しない日については臨時利用を受入

【利用児童内訳】

東京都立　七生特別支援学校　小学部　１年　男児　２名
３年　男児　３名　女児　２名
４年　男児　１名
５年　男児　２名
６年　男児　２名　女児　１名
小計　１３名

東京都立　八王子東特別支援学校　中学部　１年　女児　１名
２年　男児　１名
小計　２名

日野市立　第八小学校　たちばな学級　６年　男児　１名
小計　１名

日野市立七生中学校　６組（特別支援学級）　２年　女児　１名　小計　１名

在籍児童　合計１７名

内　個別ｻﾎﾟｰﾄ　１３名　（７６．７％）　内　強度行動障害該当児　７名

【職員体制】

・管理者　兼　児童発達支援管理責任者：１名（常勤）
・保育士：３名（常勤１名、非常勤２名）
・児童指導員：５名（非常勤５名）
・指導員：６名（非常勤６名）

【月例・定例事項】

・毎月１回　定例職員会議　を実施（２時間）曜日不定
・毎週２回　児童の下校時刻を勘案しながら小会議を実施（３０分程度　不定）
・毎月、月初に利用児童の身長と体重計測を実施し、記録
・２～３か月ペースで「ぷらたなす通信」を発行。日々の様子を保護者に周知

【活動内容】

［学校開業日］　　１４：００～１７：００
下校時刻に送迎車にて学校へお迎え
　・七生特別支援学校　１便１４：００　２便１５：３０
　・日野市立第八小学校　学年により異なる
　・八王子東特別支援学校　１便１３：５０　２便１５：４０
　・七生中学校　都度、調整送迎

入室～おやつ（手作りを基本）～遊び

１６：５０～　帰りの会
１７：００～　退室→各自宅送迎
１８：００　　送迎車帰所

［学校休業日（夏休み等）］　　１０：００～１５：００（１時間短縮）
※土曜日　月に２回　開所対応

　９：００　　送迎出発～各自宅へお迎え
１０：００　　入室～朝の会～　午前の活動（外出が主）
１２：００　　昼食（持参弁当）
１３：００　　午後の活動
１５：５０～　帰りの会
１６：００　　退室→各自宅送迎
１７：００　　送迎車帰所

□日野市社会福祉法人ネットワーク事業
①日野市移動支援従事者養成研修　会合及び実習受け入れ、養成講座　に参画
・6/9（木）、6/29（水）、7/29（金）、9/2（木）、10/16（日）、11/6（日）

②明星大学地域支援講座　参画
・10/5（水）講義登壇

②フードパントリー事業　参画
・10/20（木）、2/17（金）　定例会合参加

【新型コロナウイルス蔓延に伴う、年度当初の体制】

前年度に引き続き、コロナ禍での受け入れとなる。所轄行政機関の通達に倣って、摂食時パーティションの設置、入室時の児童の検温等を実施。

【月別報告】

４月　・4/21（木）都立八王子東特別支援学校　事業者説明会　参加

５月　・5/17（火）～約１か月　常勤保育士　疾患外科手術による入院及び自宅療養
各事業所の応援等により対応

７月　・日野市社会福祉協議会主催　「夏の体験ボランティア」参加受け入れ　６名

・7/12（火）七生特別支援学校　事業所連絡会　参加

９月　・9/5（月）日野市放課後等デイサービス事業所連絡会（臨時）　主催開催
・9/9（金）七生特別支援学校　事業所連絡会　参加

１０月　・日野市移動支援従事者養成研修　実習生６名　受入（２日間）～１１月まで

１１月　・非常勤職員　１名　退職

１２月　・非常勤職員　１名　退職

２月　・非常勤職員　２名　採用

３月　・令和５年度　上半期個別支援計画　更新面談実施
・3/30（木）昭和記念公園外出活動中に小学生児童見失いインシデント発生
（無事に保護）

【総括】

令和４年度も、年間を通して新型コロナウイルス禍による運営を余儀なくされ、国と都の通達に従いながらの運営となった。
主となる利用児童所属の七生特別支援学校との関係では、参入事業者の数が増大（２４事業所）し、児童の送迎車両の駐車スペースや搬入時間等での取り決めの順守等で学校側と事業所側とすれ違いが生じていまい、緊急に市内連絡会を開催したり日野市障害福祉課に調整を依頼したりと、現在進行形で、つど折衝が続いている。
また、通う児童の学校生活においても、デリケートな側面からカンファレンス等をともにする機会があったが、「教育」と「福祉」との背景の違いも改めて認識する事となった。
令和４年度決算及び５年度予算については、別掲の通りであり、極めて困難な状況と認識している。さらに、常勤職員の定年退職に伴って、人員体制のリスタート（若手次世代へのシフト）を考えていたが、コロナ禍が２類から５類になる事から、介護・保育業界だけではない未曾有の労働人員の不足が深刻な状態となっている。年末前から求人情報媒体を通じて募集しているが、都内では新規事業所が１か月で１０～２０か所ペースで立ち上がっている状況で、保育士・児童指導員等の資格要件を満たす人材への給与等の好待遇の求人が目立ち、いわゆる「取り合い」になってしまっている。
そのような状況下ではあったが、理念の通り、通年通じての児童への「丁寧な支援」は、おおむね実践（年度末に事案は発生してしまったが）できたと思う。保護者アンケートや関係機関からは過分な評価を頂けた。

【令和５年度に向けて】

前述の通り、日野市内に新規事業所も着々と増えており、国全体での障害児通所支援事業の総予算が増大の一途を辿っている事から、令和６年度の定期報酬改定での増額がかなり厳しい、というより減額が必定と推察される。前年度の報告書でも挙げたが、令和４年度より「都型放課後等デイサービス事業」の事業が発足されたが、対象要件が厳しい所で、都内でも参入事業所は１桁台との事である。そういった側面から放課後連・東京が、要件の緩和等を訴えてはいるが現行の運用については変更がないとの事。
ぷらたなすの人員体制や法人内の人員体制、収支状況を踏まえ、国の政策展開も鑑みながら現実的な運営判断も必要と考えている。